



1年の豊凶を占う 「粥占い」の結果は!?

2.6
wed

今年の豊凶や天候を占う「粥占い」が、御勢大霊石神社で行われました。江戸時代から記録に残る伝統神事で、1月15日に神前に供えた新米2合半の粥に、何色のカビが生えたかで、1年を占うというもの。神社総代たちが見守る中、粥の入ったおけを宮司が開けると、表面には灰色、黄色、白色のカビが!「立派なカビだ。病害虫に注意が必要だが、飯の山に割れもなく、比較的好天に恵まれるようだ」と、神社総代会長。氏子の皆さんは、安堵の表情を浮かべていました。



目標はベスト4! ソフトテニスで全国へ

2.7
thu

大刀洗ジュニアに所属する高島向日葵さん(小郡小5年、写真左)と宮原花恋さん(三国小5年、右)が、全国小学生ソフトテニス大会福岡県予選会を突破し、千葉県で行われる全国大会に出場します。

共に小学1年生からソフトテニスを始め、週5~6回の練習に励んでいるそう。ソフトテニスについて、高島さんは「駆け引きができるところが魅力」と話します。

それぞれ違うペアとダブルスを組んでの全国出場。2人とも「ベスト4」が目標とすることで、全国の舞台で2人の対決が実現するかもしれません。

みんなで考える 超高齢化社会

1.27
sun

高齢化社会を考える「住み続けたいまち★2025年フォーラム」が生涯学習センターで開催されました。

(公財)さわやか福祉財団の阿部かおりさんが、団塊の世代が75歳以上になる2025年を見据え、超高齢化社会をどう乗り切るかを講演。その後、参加者が校区に分かれ、「現在地域で行っている我慢できること・取組」「高齢者が住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けるために何が必要か」について語り合いました。

高校生の参加もあり、多様な意見が飛び交う中、それぞれの校区の現状や取組について考えました。



おごおりの魅力を 動画で発信!



2.2
sat

県の「女性による元気な地域づくり応援講座事業」に採択された講座「スマホアプリで動画をつくる!」の発表会が、大原さぼうの森館で開催されました。

観光、食、子育て、地域団体・人材などの地域情報を題材に、参加者が作成した動画の紹介を交えて発表が行われ、実行委員は「講座で学んだITスキルをさまざまな分野で生かして、小郡の楽しい情報が集まるチャンネルに育てほしい」と思いを語りました。

YouTube「おごおりチャンネル」で、市の魅力を再発見してみませんか。➡





本場の料理と講演で ペルーを身近に体験

2.10
sun

国際理解講座「世界の家庭料理体験教室・講演会」があすてらすで開催されました。

この講座は、さまざまな国の料理体験や文化に触れ、国際理解を深めることを目的としています。ペルーがテーマの今回は、ペルー出身で大川市在住の吉岡マリアさんを講師に迎え、鶏肉つきハーブごはん、ウアンカイナ風ポテト、紫とうもろこしのデザートを作りました。

講演会では、ペルー国内各地で異なる生活の様子や、食や教育について話があり、アンデス山脈地方で着られている民族衣装が披露されました。



音楽の祭典！ 今年は43組が登場

2.10
sun

日頃の練習の成果を発表する場として、幼稚園児から高齢者まで、幅広いアーティストが一堂に集まる、毎年恒例の小郡音楽祭「ハーモニーinおごおり」。27回目となる今年も、合唱団、ゴスペルグループ、ソリストなど、さまざまなスタイルで、バラエティに富んだ音楽が、文化会館に響き渡りました。

スポットライトを浴びて、少し緊張した面持ちで登場するも、いざイントロが鳴り始めれば、とたんに伸びやかな歌声を披露する出演者たち。クライマックスの合同合唱では、観客たちと一体感を味わい、感動のひとときを過ごしました。

まごころを込めて 初マルシェで販売

2.9
sat

イオン小郡ショッピングセンターで、障がいのある皆さんによる「小郡・まごころマルシェ」が初開催されました。オシャレなアクセサリや雑貨、採れたて野菜と、各福祉事業所のブースには、充実のラインナップがズラリ！

まごころ込めて作った商品を丁寧に説明する笑顔の接客につられて、贈答用にいくつも購入する人や、お父さんにねだる子どもなど、お客さんは思わず財布の紐が緩んでいるようす。

焼きたてパンは午前中には完売するなど、大盛況の1日でした。



東京の人たちに 小郡の味をPR！

2.9
sat

2.10
sun

東京都新橋のアンテナショップ福岡久留米館で「小郡の魅力フェア」を開催しました。

当日は雪が降っていたにもかかわらず、多くの来場があり、小郡の果物や野菜、お菓子などの試食販売、観光パンフレットの配布などを行い、PRしてきました。

来場者からは、「おいしい！」「この商品は販売していないの？」といった声や、その場でふるさと納税の申込みもあり、小郡の魅力をしっかり伝えることができた2日間でした。

